



報道関係各位

2009年8月19日
オークリージャパン株式会社
<http://oakley.jp/>

オークリージャパンが渋井陽子選手と契約

～ 最高のパフォーマンスを引き出すためにアイウェアで強力なサポートを展開～

オークリージャパン株式会社(本社:東京都目黒区三田1-12-23 代表取締役社長:池田マイク)は渋井陽子選手(三井住友海上女子陸上競技部所属)とアイウェア使用に関する契約を締結しました。スポーツアイウェアのリーディングブランドであるオークリーは、今後ますますの活躍が期待される渋井選手がベストのパフォーマンスを発揮出来るよう、競技状況に合わせたアイウェアの提供を行います。今回の契約にあたり渋井選手は「2001年の世界選手権エドモントン大会のマラソン出場の時からオークリーのサングラスを使用しています。レースの時だけではなく、練習の際にも眼を保護するのに必要で、体調維持には欠かせない大切なアイテムとなっています。」とコメントしています。

<陸上競技とアイウェアの関係>

競技中および練習中に紫外線を眼に受けることで眼精疲労というダメージを受けるほか、眩しさ(可視光線)を感じることで疲労感が加速され、その結果ベストのコンディションで競技にのぞむことが難しくなります。紫外線や可視光線などの太陽光線の他にも、風や空気中の塵・埃などが眼に入り、競技の妨げになることがあります。このように様々な外的要因から眼を守ることは、競技においてベストのパフォーマンスを出すことと密接に関係しています。オークリーは「あらゆる状況下においてどのように眼を守るか」を第一に考え、太陽光線を始め、紫外線や眼を乾燥させる風、砂や小石などの障害物から眼を守ることに主眼を置き、常に問題意識を持って製品開発に取り組んでいます。この妥協を許さない姿勢が選手のパフォーマンスを最大限に引き出すスポーツアイウェアを生み出す結果につながっています。

<掲載紙・誌面でのお問い合わせ先>
オークリージャパン株式会社
0120-009-146

<本件に関するお問い合わせ先>
オークリージャパン 担当:大内・竹村
TEL:03-3716-9300 FAX:03-3716-9526



■ 2009年1月大阪国際女子マラソン優勝 ■

< 渋井陽子選手経歴 >

高校時代よりインターハイや高校駅伝で活躍。高校卒業後入社した三井住友海上では、エースとしてチームを引っ張る存在として活躍。全日本実業団女子駅伝では史上最多記録である6回の優勝へチームを導く。2002年、日本人初である30分台の記録を10,000mで樹立。この記録は今もなお破られていない。2001年大阪国際マラソンにてマラソン・デビューし、当時の初マラソン世界最高記録で優勝したのち、同年の世界陸上エドモントン大会の代表に選出される。また2004年のベルリンマラソンにおいても優勝を飾る。その後長期に渡りスランプに苦しむも、2008年北京オリンピックにて10,000m選手として出場。しかし力を出しきれず17位という不本意な結果に終わる。その後の2008年東京国際女子マラソンにおいても4位という成績に終わるが、翌年2009年1月の大阪国際女子マラソンで4年4ヶ月ぶりとなるマラソンでの優勝をし、見事復活を果たす。

- 生年月日 : 1979年3月14日
- 出身地 : 栃木県出身
- 身長/体重 : 165cm/47kg
- 自己ベスト : 5000m: 15分18秒92
10000m: 30分48秒89 (日本記録)
マラソン: 2時間19分41秒 (日本歴代2位)



< 掲載紙・誌面でのお問い合わせ先 >
オークリージャパン株式会社
0120-009-146

< 本件に関するお問い合わせ先 >
オークリージャパン 担当: 大内・竹村
TEL: 03-3716-9300 FAX: 03-3716-9526